

## 上原博君を囲んで 4月11日

沓掛 文夫（3組）

4組の上原博君が米国から一時帰国するというこゝで、丸山暢久君がミ二同級会を企画し、多少かかわりのある私にも声がかかり出席させてもらった。丸山君の存じよりの田町の料亭で午後6時からの開催であった。

当日は風雨が強く、足元が悪いなか、上原君の他に4組から主催者の丸山暢久君、浅倉英樹君、関森寿一君、2組の丸山幸雄君（上田から）、3組から原田義則君と沓掛（筆者）が参集して宴会は始まった。当初、4組からは柏木集保君と瀧沢政視君が出席する予定であったが、諸般の事情により出席できなかったことは残念であった。丸山幸雄君は上田2中で同窓であったとのこと。

原田君と私は大学の同窓の関係である。上原君の大学での思い出の始めは私が入学した際、上田高校の先輩がたが入学祝いを開催してくれて、そのとき、上原君、原田君、今はなき竹田敏君などが迎えてくれたことである。私は浪人して入学したため、彼らが先輩となった。さらに、上原君とは大学での学部、学科、卒業研究のための研究室も同じという関係があった。研究室は酵素研と呼ばれる研究室で、今堀和友先生が指導教官の研究室であった。今堀研とも呼ばれていたが、先生も昨年（2016年5月10日）に95歳で亡くなられてしまった。老化研究の先駆者であると思っている。

この研究室からは有名なかたが多数、輩出されており、昨年ノーベル生理学・医学賞をとられた、大隅良典さんも在籍されていた。ノーベル賞をとられたかたが今堀研におられたことを知り誇りに思っていたのだが、上原君に聞くと丁度我々が在籍している頃に大隅さんも在籍され、上原君は会話を交わしたこともあったそうである。残念ながら、常時詰めていた研究室の階が異なり私はお会いした記憶がない。もう少し、諸先輩と会話をしておくんだと今頃になり後悔しきりである。上原君は米国でFDA（アメリカ食品・医薬局）に長年勤務していたとのことだった。また自転車が趣味で長距離のロードサイクルをしているということで予想もしていない趣味に驚いた。

丸山暢久君のいきつけの料亭ということもあり、料理もおいしく、酒も各自、日本酒、ワインなど好きなものを飲みながらの楽しい時間を過ごした。

最後に丸山暢久君の希望で 上田高校寮歌 を一同斉唱して約2時間ほどの飲み会も散会となり、私と原田君、関森君がタクシーに同乗し、帰宅の途に就いた。残りの方が2次会にいったかどうかは私は知らない。

（2017年4月20日 記）

次ページ以降に写真



